

第5回 全校研究会

「多様な児童生徒に自分らしい社会貢献を実現する授業」 ～学習評価をとおして多様な児童生徒の幸せに生きる力を育む～

3月24日(金)に第5回全校研究会を行いました。今回も各学部の代表クラスの授業実践を、YouTubeの限定公開にて事前視聴して研修に臨みました。当日の前半は神戸親和女子大学の武富先生から実践の講評を含めたお話をいただきました。子どもたちが、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせることができるよう授業づくりを行っていくこと等、日々の授業実践で大切にすべき内容をお話いただきました。



後半は、学部を超えたグループで、「1年間の研究を振り返り、次年度に向けた授業づくりの視点について」というテーマでグループワークを行いました。各学部における「自分らしい社会貢献を目指して取り組んできたこと」を振り返ったり、次年度に向けて授業づくりや授業改善で大切にしたいことを話し合ったりする様子が見られました。今年度の全校研究会の締めくくりにふさわしい実り多い時間となりました。グループワークでの気づきや学びを、今後の授業実践に生かしていきたいと思えます。



【全校研究会の感想】



年間をとおして、学部等を超えた同じメンバーでグループワークをすることができたので、卒業後を見据えた学びについて協議することができてよかった。

授業改善を継続していくなかで、組織的に情報共有をしていくことで、より客観的で具体的な学習評価につながると感じた。学びを今後の実践でも生かしたい。

